

現在時制の問題点：歴史的現在について

加 島 康 司

1. 時制と時間のズレ

「時制」は次の定義が示すように、時間関係を言語上に反映する文法上の仕組みである：

Time is a universal, non-linguistic concept with three divisions: past, present, and future; by *tense* we understand the correspondence between the form of the verb and our concept of time.¹⁾

(時間は普遍的な、非言語的な概念で、過去、現在、未来の三区分がある。「時制」という用語によって、我々は動詞の形態と時間概念との対応関係であると理解している。)

時間関係を我々がどのように認知しているのか、それが時制体系に反映される。従って、現在時制は基本的に現在時を、過去時制は基本的に過去時を示すが、いつもそのような対応関係になるわけではない。例えば、例文(1)、(2)は現在時制を、例文(3)、(4)は過去時制を使っているが、それぞれ、現在時、過去時を表わしているわけではない：

- (1) She walks to work.
- (2) I start work next week.
- (3) It's time we had a holiday.
- (4) I wondered if you'd look after my dog while I go shopping.²⁾

例文(1)は、現在時のみならず、過去時、未来時まで包含している。例文(2)は未来時について述べている。例文(3)、(4)は現在時の心的状態を表わしている。このように時間と時制の対応には興味ある現象が多いが、本論では、形式上は現在時制でありながら意味上は現在時を表わさない場合の典型である「歴史的現在 (historic present)」を取り上げ、考察する。

2. 歴史的現在とは

歴史的現在は次のように定義され、また、その用法の目的から「劇的現在(dramatic present)」と呼ばれることもある：

The historic present describes the past as if it is happening now: it conveys something of the dramatic immediacy of an eye-witness account.³⁾

歴史的現在は1300年以降に発達した用法と言われているが⁴⁾、現代英語では頻繁に使用され、Mackin and Seidle (1979²⁾では、historic presentが練習問題の1項目となっているほどである⁵⁾。Leech (1987²⁾は、歴史的現在を、歴史的用法(historic use)と虚構的(fictional use)と区分している。虚構的用法とは、小説家や物語作家が劇的な高揚をねらう手法として現在時制を使う場合を指しており、これによって読者はそこに描写されている出来事を目撃している立場におかれる⁶⁾。ただし、「過去」の出来事を「現在時制」を用いて描写する点において両者は共通しているので、本稿では、歴史的現在として扱う。

3. 歴史的現在の種類

3.1. パラグラフの一部が歴史的現在のケース

例文(5)、(6)は、文法書からの引用である。これらは歴史的現在の典型的な用例である。

(5) I couldn't believe it! Just as we arrived, up comes Ben and slaps me on the back as if we're life-long friends. 'Come on, old pal,' he says. 'Let me buy you a drink!' I'm telling you, I nearly fainted on the spot.⁷⁾

(6) Last week I 'm in the sitting-room with my wife, when this chap next door staggers past and in a drunken fit throws a brick through our window.⁸⁾

(7) "Why are you running?" the harsh voice asked. His Danish was very poor. Three years, Annemarie thought with contempt. Three years they've been in our country, and still they can't speak our language. (Stars, 3)

歴史的現在とは過去時の出来事を現在時制で表現する用法なので、基本的に、語られている内容が過去の出来事であることが文脈の中で明示されなければならない。例文(5)は、過去時制の文が続き、途中から現在時制にシフトし、再び、過去時制に戻っていく。例文(6)は、動詞が全て現在時制であるが、Last week という過去を表わす副詞句で文が始まっている。このように歴

史現在はなんらかの形で全体の話を超過去という枠組みの中に入れてしまうマーカーを必要とする。現在時制を使った文 I get out of the car. と過去時制を使った文 I got out of the car. が等値であることは普通はありえないが、過去という文脈が全体を支配していれば、両者の交代はありうる⁹⁾。例文(7)は最初の3つの文で過去という枠組みが形成された上での歴史的現在の利用である。下線部の一方は歴史的現在完了、他方は歴史的現在である。

次の例文(8)は文法書で歴史的現在の1例として挙げられていたのだが、文脈から切り離され、歴史的現在の部分だけが提示されている。現実にはこのように、内容が過去の出来事であることを表示するマーカーなしに、いきなり現在時制で始まり、それが歴史的現在として解釈されることはない。

- (8) He just walks into the room and sits down in front of the fire without saying a word to anyone.¹⁰⁾

3.2. パラグラフ全体が歴史的現在になる場合

文法書で歴史的現在を調査すると、具体例は3.1.で示したように、パラグラフの一部が現在時制で書かれている例文を挙げている場合が殆どである。しかし、小説等で歴史的現在の事例を収集していると、3.1.の用法を拡大して、「段落全体」、または、「章全体」が歴史的現在で書かれている場合がかなり見つかる。

- (9) ① The following are cases from motorcycle accident files at the University of Southern California.

While passing cars, a motorcyclist strikes a vehicle making a left turn. The rider bounces off the car and is thrown head first into a curb. His helmet suffers damage to the left front area, but the rider receives only a head cut and a mild concussion. Another rider brakes hard to avoid a car which turns in front of him, skids, and slides under the vehicle. He is trapped and dragged before the car can stop. The back of his helmet receives abrasions, and the face shield is scratched and dented, but the rider suffers only a cut on his eyebrow and some broken teeth. A third rider, stopped at a traffic signal, is rear-ended by a car. He falls in front of the car, but the car cannot stop in time and runs over the rider's head. He receives facial injuries and concussion; ② if he wasn't wearing his helmet, he'd probably be dead. (AFN, 12-14)

3行目からの第2段落では、下線を施した部分（下線部②は除く）はすべて現在時制で書かれている。しかし、述べられている内容が過去の出来事であることは、第1段落、下線部①の存在によって、明示されている。下線部①、すなわち、「これから述べることは南カリフォルニア大学でのオートバイ事故ファイルからの事例です」という文を最初に置くことで、その後続く内容全体を「過去」という枠組みの中に取り込んでしまうのである。それによって聞き手は、事故の詳細が現在時制で述べられていても、それは既に発生した事故の説明であると理解するのである。また、段落最後の文、下線部②は仮定法過去で書かれているが、（内容的に過去の出来事を表す）歴史的現在で書かれた文が続いた後に来ているので、実際は、過去の事実の反対を表わす仮定法過去完了になるところである。ちなみに、この英文につけられた日本語訳は、すべて「……しました」と過去形が使われている¹¹⁾。

- (10) On ① Saturday, August 5th, Steven Danielson watches his 12-year-old son David play goalkeeper for his soccer team. Ed Perry drinks with friends at a local bar. After the game, Steven and David say goodbye to the team. After a few rounds, Ed Perry says goodbye to his friends. The Danielsons drive westbound on Route 2. Ed Perry sideswipes their car. The Danielsons spin across the undivided highway and collide head-on with a six-wheel truck. Steven and David Danielson are killed. Ed Perry is uninjured.
- ② The preceding story actually took place in Concord, Massachusetts. Only the name of the drunk driver was changed. (AFN, 24-26)

用例(10)では、第1段落すべての動詞は、最初の下線部動詞 watches から最後の be 動詞 is まですべて現在時制で書かれている。しかし、第2段落、下線部②を読むと、全体の状況は過去の交通事故の説明であることが分かり、それから、第1段落全体が歴史的現在で書かれていることも分かる。また、下線部①の Saturday, August 5th が未来の日時か過去の日時か解釈の可能性が2通りあるが、過去の日時であることは後続の内容から判明する。

William Saroyan 作 The Miraculous Phonograph Record は少年時代の思い出を綴った、4章からなる短編である¹²⁾。第1章で、この話は自分が13歳だった1921年の出来事であると、まず時間設定をしている。従って、そこで使われている動詞の時制は過去時制である。そして、第2章からその出来事の詳細へと物語は進み、第3章へと続く。この2つの章ではすべての文が現在時制で書かれていて、読者をその時代へと引きこむ。まさに2・3章では、歴史的現在がその機能を十分に果たし、読者はまるでその出来事を目撃しているかのような、または、舞台上で演じられている芝居を見ているかのような、つまり、その出来事が眼前で進行中であるかのような

感覚に陥る。著者が自ら先頭に立って、読者を過去の世界に連れて行ったかのような感覚に陥る。最後の章で、再び、著者は視点を現在に置き、そこからその出来事を回顧する形をとり、物語は終了する。途中から章全体を歴史的現在で書くというこの文体上の手法は比較的多用される¹³⁾。

3.3. 伝達動詞 (verbs of communication)

発言や執筆などの行為が厳密に言うとは過去に行われたにもかかわらず、伝達動詞に現在時制が使われることが多い。これは、伝達された内容が現在にも通用するからであると言われている¹⁴⁾。

- (11) The plaque was signed by Neil Armstrong, the rest of the *Apollo* 11 crew, and the President of the United States. It reads: HERE MEN FROM THE PLANET EARTH FIRST SET FOOT UPON THE MOON. JULY 1969 A. D. WE CAME IN PEACE FOR ALL MANKIND. (Spectrum, 84)
- (12) The other day I read a book, and in it a boy from India says all the world should unite. (Unicorn I, 63)
- (13) Some of my students were upset when characters in the novel tell Atticus's children that their father is a "nigger lover." (RD, June 2003, 111)
- (14) "On the evening of my lecture," writes Dr. Wambach, "she had hurried home because she had a journalism assignment due to the next day. . . (略)" (Spectrum, 31)

3.4. 記録的現在 (annalistic present)

これは過去の出来事を現在時制を使って描写することで、その出来事を年表のように記述していくところから、この名称で呼ばれる。

- (15) **February 11, 2003** Hong Kong media report a mystery pneumonia-like virus sweeping through neighbouring Guangdong province, China, infecting 305 people and killing six.
February 21 One of those infected is Dr Liu Jianlun, a nephrology specialist at one of Guangzhou's premier hospitals. He travels to Hong Kong for a relative's wedding. There he checks into a hotel and, perhaps sneezing in a lift or the lobby, infects seven other people, setting off a series of outbreaks in Hong Kong and elsewhere around the world.
February 22 Jianlun goes to Kwong Wah Hospital suffering from a virulent

disease and dies a few days later.

March 12 The world Health Organisation issues a global alert about the mystery disease after one of its experts based in Hanoi, Dr Carlo Urbani, attends to businessman infected by Jianlun at the Hong Kong hotel before travelling to Vietnam. (RD, June 2003, 44-45)

この用例が収録されている *Reader's Digest* は 2003 年 6 月号なので、当然、上記の記事は過去の出来事の報告であり、日付をつけることで事件の経過を明示している。記録的現在の場合、このように日付を記すことでその内容が過去のことであることを示してしまえば、内容については、現在という時点で視点をおき、そこから振り返るというよりは、その時点に戻って、いわば同時進行的に記録していくという心理状態にする。

3.5. キャプション

写真に添えた説明文で使われる時制は歴史的現在であることが多い。写真が撮られたのは過去の出来事であるが、写真を撮った状況を説明する動詞は現在時制である。

(16) Dr Eugene Wu checks messages well-wishers have sent to hospital staff. (RD, June 2003, 47)

(17) Ang Lee's wife, Jane Lin, gives the absent-minded director much-needed stability. (RD, June 2003, 53)

用例(16)では、動詞 *checks* は、実際は過去の出来事を指す。そして、*have sent* は実際は、過去完了であるはずなのだが、現在完了で書かれているので、「歴史的現在完了」のケースである。しかし、写真のキャプションがいつも現在時制（歴史的現在）で書かれるわけではない。例えば、用例(18)では、動詞は過去時制で書かれている：

(18) In happier times - Gabriella and Stephen Rae shared much in common before they fell apart. (RD, June 2002, 113)

この用例が収集された *Reader's Digest* の記事は、あるカップルの悲劇的事件をレポートしている。二人が知り合った頃の幸せな関係から始まり、その後、男がストーカーと化し、女性に灯油をかけ火傷を負わせるまで、そして、その後、彼女が回復するまでを報道している。18 頁にわたるこの記事の中に 6 枚の写真が掲載されているが、そのキャプションは用例(18)と同様すべ

て過去時制で書かれている。この場合、事件が過去に起こったということ、二人の関係が現在では解消されているということが時制選択の大きな要因になっていると思われる。

4. 結論

紙面の関係で省略したが、上記の他に、新聞の見出し、専門書における他箇所参照 (cross-reference) などにおいて歴史的現在が使用されることも言及しておかなければならない。

最後に歴史的現在について2点指摘する。まず、歴史的現在がなぜ存在するのかということである。従来、過去の出来事をあたかも眼前で起こっているかのように生き生きと描写するためと説明されてきた。今回の調査において個々の用例を検討していくと、確かにその点が歴史的現在を使用する最大の要因であることは間違いない。そして、その背後にあるのは人間の思考の柔軟さであろう。人は視点を現在から過去へと、また、過去から現在へと自在に、そして、瞬時に切り替えることが可能なので、作家（または話し手）はある時は現在から過去の出来事を見つめたり、また、別の時には意識を過去の世界に置き、そこから出来事を見つめたりする。そして、読者（聞き手）は作家（話し手）の思考（視点）に問題なくついていけるのである。一方、Wolfson (1979) は話し言葉における歴史的現在を調査し、歴史的現在に対する過去の説明に疑問を呈している。彼女によると、物語の重要な点が必ずしも歴史的現在ではなく、過去時制で書かれていることが多く、過去時制と歴史的現在の交替は物語の場面の変化に対応しているということである¹⁵⁾。

次に、日本語との対応関係である。英語の歴史的現在と過去時制の関係を日本語の「る」形と「た」形に対応させることは出来ない。なぜなら、英語の原典と日本語の翻訳（または、その逆）を比較すると自明のことであるが、英語ではたとえ過去時制を使った文が連続したとしても不自然ではないが、それを日本語に翻訳した場合、「る」形が混在してくるからである¹⁶⁾。日本語の「る」形と「た」形の交替については、曾我 (1984) が分析している。それによると、「た」形は物語の主筋の事象について使われ、「る」形は副次の事象について使われる傾向があるという¹⁷⁾。それでは、英語の歴史的現在が持つ機能、過去の場面を生き生きと描写する働きを日本語では何が果たすのか。松村 (1996) は、日本語の場合、擬声語や擬態語を多用すること、動詞句を省略し畳み掛けるように人の発話を引用すること、などがそれにあたると指摘している¹⁸⁾。

注

- 1) R. Quirk and S. Greenbaum, *A University Grammar of English* (London: Longman, 1973) 40.
- 2) G. N. Leech, *Meaning and the English Verb* (London: Longman, 1987²), 9, 10, 14, 15. 例文中の下線は筆者。以下、同じ。
- 3) R. Quirk, et al., *A Comprehensive Grammar of the English Language* (London: Longman, 1985), 181.

- 4) G. O. Curme, *Syntax* (Tokyo: Maruzen, 1974³), 355.
- 5) R. Mackin and J. Seidle, *Exercises in English Patterns and Usage* (Oxford: Oxford University Press, 1979²), 33-34.
- 6) G. N. Leech (1987²), 16.
- 7) R. Quirk, S. Greenbaum, G. Leech and J. Svartvik, *A Comprehensive Grammar of the English Language*, (London: Longman, 1985), 181.
- 8) G. N. Leech (1987²), 11.
- 9) オハイオ州立大学言語学科編『ランゲージ・ファイル』(東京：研究社, 1999), 169.
- 10) F. R. パーマー『英語動詞の言語学的研究』安藤貞雄訳(東京：大修館, 1972), 88.
- 11) アルク編 *AFN SPOT ANNOUNCEMENTS* 猪飼輝子他訳(東京：アルク, 1998), 13.
「1台のオートバイが車を追い越して走っているとき、左に曲がろうとする車に 衝突しました。ライダーはバイクから投げ出され、頭から歩道の縁石に 突っ込みました。ヘルメットの左前方部は 壊れましたが、ライダーは頭に切り傷を負って、軽い脳しんとうを 起こしただけでした。別の……(略)」このように、英語では現在時制で書かれている部分がすべて日本語では過去形で訳されている。日本語の場合、過去の事例を報告しているという状況が分かっているのに、現在形で書くと、脚本のト書きを読んでいる様で奇異な感じを受ける。
- 12) 高橋康成他 *Progressive English Course II* (東京：尚学図書、2002), 89-100.
- 13) “A Growing Passion” in *Reader’s Digest* (July, 2003), 116-130 においても同じ手法がとられている。
- 14) A. S. Hornby, *Guide to Patterns and Usage in English* (Oxford: Oxford University Press, 1975²), 85. なお、Mackin and Seidle (1979²) 33-34 で、二人が historic present の練習問題として挙げているのは、殆ど伝達動詞 (hear, learn, say, see, write) の場合である。
- 15) Nessa Wolfson, “The Conversational Historical Present Alternation” in *Language*, volume 55, number 1 (1979), 173.
- 16) 注 11) の場合、原文は歴史的現在で書かれているのに、日本語訳は「た」形になっている。また、大塚 (1975, 37)、一色 (1978, 83-84) も具体例を挙げて、日英語の対応関係を分析している。両者に共通していることは、英語が過去時制の場合でも日本語では必ずしも「た」形にならないこと、日本語原典が「る」形になっていても英訳では必ずしも(歴史的)現在時制にならない、ということである。
- 17) 曾我松男「日本語における時制と相について」『言語』1984年4月号(東京：大修館, 1984), 123-124. ただし、著者本人も述べている通り、検討した用例数が少ないので、この説が妥当性を持つには、さらに多数の用例の検討が必要となる。
- 18) 松村瑞子『日英語の時制と相一意味・語用論的観点から—』(東京：開文社, 1996), 24.

参考文献

- Biber, D., and S. Johansson, G. Leech, S. Conrad & E. Finegan. (1999) *Longman Grammar of Spoken and Written English*. London: Longman
- Close, R. A. (1977²) *English as a Foreign Language Its Constant Grammatical Problems*. London: George Allen & Unwin.
- Comrie, Bernard. (1981) “On Reichenbach’s approach to tense”. In Roberta A. Hendrick, Carrie S. Masek & Mary Frances Miller, eds., *Papers from the Seventeenth Regional Meeting, Chicago*

- Linguistic Society*, pp. 24-30. Chicago: Chicago Linguistic Society.
- Curme, George O. (1974³) *Syntax*. Tokyo: Maruzen
- Declerck, Renaat. (1991) *A Comprehensive Descriptive Grammar of English*. Tokyo: Kaitakusha.
『現代英文法総論』(1994) 安井稔訳 東京：開拓社
- Greenbaum, Sidney. (1996) *The Oxford English Grammar*. Oxford: Oxford University Press.
- Greenbaum, S. and J. Whitcut. (1988) *Longman Guide to English Usage*. London: Longman.
- Greenbaum, S., R. Quirk, G. Leech and J. Svartvik. (1990) *A Student's Grammar of the English Language*. London: Longman.
- Hayasaka, Takanori and Yukio Toda(eds.). (1998) *Introductory Topics of Linguistics*. Tokyo: Eihosha.
- Hornby, A. S. (1975²) *Guide to Patterns and Usage in English*. Oxford: Oxford University Press.
- 一色マサ子 (1978) 「日英語表現構造の比較」『日英語の比較』68-97 頁 (現代の英語教育 8) 東京：研究社
- Jespersen, O. (1909-49) *A Modern English Grammar on Historical Principles*. 7 vols. London: George Allen & Unwin.
- 小西友七 岸野英治 (1988) 『現代表現英文法』英宝社
- Leech, Geoffrey N. (1987²) *Meaning and the English Verb* London: Longman.
- Leech, Geoffrey and J. Svartvik. (1975) *A Communicative Grammar of English*. London: Longman.
- Mackin, Ronald and J. Seidle. (1979²) *Exercises in English Patterns and Usage*. Oxford: Oxford University Press.
- 松村瑞子 (1996) 『日英語の時制と相—意味・語用論的観点から—』東京：開文社
- 大江三郎 (1982) 『動詞 (I)』(講座・学校英文法の基礎 第4巻) 東京：研究社
- オハイオ州立大学言語学科編 (1999) 『ランゲージ・ファイル』筧壽雄、西村義弘、嶋村誠編訳 東京：研究社
- 大塚高信 (監修) (1975) 『英語の語法 表現篇第一集』東京：研究社
- パーマー, F. R. (1972) 『英語動詞の言語学的研究』安藤貞雄訳 東京：大修館
- Poutsma, H. (1926-29) *A Grammar of Late Modern English*. 5 vols. Groningen: Noordhoff.
- Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech and J. Svartvik. (1972) *A Grammar of Contemporary English*. London: Longman.
- . (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. London: Longman.
- Sinclair, J. et al. (1990) *Collins COBUILD English Grammar*. London: William Collins Sons & Co. Ltd.
- 曾我松男 (1984) 「日本語における時制と相について」『言語』1984年4月号 120-127 頁 東京：大修館
- 鈴木重幸 (1976) 「日本語の動詞の時について」『言語』1976年12月号 50-58 頁 東京：大修館
- Swan, Michael. (1995²) *Practical English Usage*. Oxford: Oxford University Press.
- Thomson, A. J. & A. V. Martinet. (1980³) *A Practical English Grammar*. Oxford: Oxford University Press.
- 植木五一 (1958) 『動詞 (上)』(現代英文法講座第三巻) 東京：研究社
- Wolfson, Nessa. (1979) "The Conversational Historical Present Alternation". In *Language*. Volume 55, number 1. Pp. 168-182.

安井稔 (1996²) 『英文法総覧』(改訂版) 東京：開拓社

山本和之 (2002) 「言語表現からみた時・時間」 広中平祐、金子務、井上眞一編『時間と時——今日を豊かにするために』103-115頁 東京：学会出版センター

資料収集に利用した文献 []内は本文中で用いた略称

1. 小説等

アルク編 (1998) *AFN SPOT ANNOUNCEMENTS* アルク CD ライブラリー 27 猪飼輝子、服部清美、福住陽子、木崎亜紀訳 東京：アルク [AFN]

Lowry, Lois. (1989) *Number the Stars*. New York: Bantam Doubleday Dell Books. [Stars]

Reader's Digest Vol. 79 No. 471 June 2002, Vol. 81 No. 483 June 2003, Vol. 81 No.484. Hong Kong: Reader's Digest Association Far East Ltd. [RD]

2. 高等学校教科書

塩沢利雄他 (1999²) *Spectrum English Reading*. 東京：桐原書店 [Spectrum]

高橋康成他 (2002) *Progressive English Course II*. 東京：尚学図書 [Progressive]

吉田正俊他 (1990) *Unicorn English Course I*. 東京：文英堂 [Unicorn]